



# 宇津木台 森遊会 実施報告

## 「第3回定例活動」

No.2014-03

実施日	2014年6月25日(水) 10:00~14:00	天候:曇り	記録:金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者:1名(男性1) 金森		

### 実施内容

活動4年目の第三回目。緑地内に6個ある巣箱の痛みが激しいので補修することにする。特に、2つは、巣箱を木に固定するワイヤーが切れて(錆びが原因と考えていたが、実は木が太くなり、自然に切れたようだ)、巣箱が傾き、巣作り中の巣材がむき出しになり子育てに失敗した可能性が高い。

巣箱を一つずつ丁寧に補修してゆく、巣材が入っている場合は取り出す(巣立った後なので問題はない)、汚れの掃除、箱がガタガタしている部分を釘で補修、バーナーによる表面の焼き直し(目的は長持ちさせる)、ワイヤー(錆びないステンレス製)で固定する(木が太くなくても大丈夫なように少し余裕を持たせるも3年が限界か?)。

何者かが突いたのか鳥の出入り口が破損しパーツが見当たらないものが1つ、付近の枝を集めて釘で打ち付け、3センチほどの入口にしてみた。自然の樹洞は必ずしも円形とは限らないので期待している。

ワイヤーが切れなかった残りの4つは、巣材が残され、おおむね無事に巣立ったようだ。雛と思われる死骸を1羽確認した。

前回の活動で雷鳴によって整備できなかった竹林の若竹伐りは、その後、岡田会員が伐ってくれたと伺っていた。伐った跡はあったものの、その後、さらに生えてきている。竹の生命力には驚かされる。



緑地内に6個ある巣箱を一つずつ補修してゆく 中を掃除するだけでなく バーナーで外回りを焼くと板は長持ちする



中央の広場の巣箱は誰かが突ついたので、入口の部分が破損して見当たらない 枝などを打ち付けて3センチほどの入口にする



シジュウカラの子育ては全て終わったようで、巣材のみが残されていた 破損した2つを除いて4つは無事に巣立ったようだ

**連絡事項** ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は小1個を指定の場所に置く。